

水辺の里伊庭を考える会 後世に伝えよう！伊庭魅力再確認プロジェクト ～想いをつなぐ～

You,
Unlimited



伊庭町映画製作プロジェクト ～想いをつなぐ～

滋賀県の東近江市にある伊庭町は、平成27年に日本遺産の一部に認定されています。かつての伊庭町では水辺は欠かせないものでした。なぜなら水辺は田船を使った交通手段や、生活、住民同士のコミュニケーションの場になっていたからです。しかし、日本の社会成長に伴い、道路の圃場整備によって川幅は狭くなり、一家に一舟あった田船は車へと姿を変えました。加えて、水道の整備などにより水辺と住民の暮らしが離れた存在になってしまいました。このような現状からこのままでは水辺での暮らしや文化が忘れられてしまいます。そこで私たちは水辺の文化伝統を後世に伝えていくために子供たちを対象とした、伊庭住民が主体の地域映画製作をしようと考えました。



※個人の顔が映っている写真を使用する際は肖像権に注意してください

5月・9月に、子ども世代を対象とした「水辺×遊び」WSを行いました。子どもたちに水辺をより身近に感じてもらうために座学よりも遊び要素を踏まえ、水辺について楽しく触れ合えることが大切であると考えたからです。また、大人世代と交流を図るために、地域のイベントや困り事などにも積極的に参加・お手伝いをしました。また、働き手世代を中心に懇親会を行い、様々な世代から水辺の思い出を話し合い、水辺の魅力を再確認しました。これらの活動を通じて、私たちが伊庭に溶け込むことで、親しみや信頼を築き、映画製作委員会の発足に繋がりました。

伊庭リンピック（5月28日）・フォトコンテスト（9月3日）



地域イベントの運営スタッフ（2018年8月10日・11日）



伊庭ガーデン（2018年9月3日）



そして私たちの想いに共感してくださった伊庭住民を中心に映画製作委員会を発足することが出来ました。委員会ではどのようにすれば子供たちに伊庭の文化や伝統が伝わりやすいのか、水辺がこれまでに残ってきた意味は何なのか等、子供たちに分かりやすく、何を伝えるのかを真剣に議論しています。現在は映画のストーリーまで話が進んでいます。今後は委員会のメンバーをさらに増やし、伊庭一丸となった映画作りを進めていきます。

映画製作委員会会議（1回目2018年10月28日、2回目2月26日）



問い合わせ先

団体名：水辺の里伊庭を考える会（代表：山本海都）
MAIL：h160300 @ mail.ryuukoku.ac.jp

